

4月9日に開通した秋田城跡史跡公園連絡橋を渡る親子の様子



あきた 市議会だより

No.186

令和4年
5月6日

1月臨時会・2月定例会の概要		P 2～4
1月臨時会・2月定例会の議決結果	...	P 5～7
代表質問		P 8～10
「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を非難 する決議」を可決		P 10
一般質問		P 11～12
予算決算委員会各分科会の審査から		P 13
あきた市議会だよりアンケート		P 14
6月定例会のお知らせ(予定)		P 14

秋田市議会ではLINEによる情報発信をしています。
LINEの「友だち追加」から「ID検索(@akitacity_gikai)」
または「QRコード」で登録できます。



南側から見た秋田城跡史跡公園連絡橋

1月臨時会・2月定例会の概要

1月20日

2月14日～3月22日

1月臨時会では、予算案1件、単行案1件について、それぞれ可決・承認したほか、人事案1件を不同意としました。

2月定例会では、令和4年度一般会計予算などの予算案17件、秋田市消防団員の報酬及び費用弁償額並びにその支給方法条例の一部を改正する件などの条例案14件、単行案16件および令和3年度の補正予算案16件をすべて可決・承認しました。また、人事案5件を同意し、議員提案による決議案1件を可決しました。

1月臨時会

令和3年度補正予算

新型コロナウイルス感染症
対策関連事業

住民税非課税世帯等
臨時特別給付金給付事業

3年度市県民税が非課税である世帯等に対し、1世帯当たり10万円の給付金を給付します。

対象世帯 次のいずれかに該当する世帯

・3年12月10日時点において秋田市の住民基本台帳に記載があり、3年度市県民税が非課税である世帯

・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて3年1月以降の家計が急変し、市県民税非課税世帯と同様の事情にあると認められる世帯

給付時期 4年3月から

44億6千96万3千円



▶ 令和4年度当初予算

全会計合計 2,543億9,709万6千円
対前年度増減率 2.1%

		対前年度増減率
一般会計	1,378億7,000万円	0.7%
特別会計	822億6,706万1千円	4.5%
企業会計	342億6,003万5千円	2.0%

一般会計予算 1,378億7,000万円の内訳



民生費
約534億円



土木費
約146億円



総務費
約145億円



公債費
約131億円



衛生費
約120億円



教育費
約120億円



商工費
約93億円

その他

消防費 約43億円
農林水産業費 約30億円
労働費 約7億円
議会費 約7億円
など

2月定例会

令和4年度当初予算

あきた芸術劇場
開館記念事業

あきた芸術劇場の開館に当たり、4年6月に開館記念式典を挙げるほか、開館記念事業として、9月にグランドオープン記念特別公演、5年1月に県民・市民参加型ミュージカルを実施します。

1千581万5千円



4年6月に開館する
あきた芸術劇場ミルハス

移住促進事業

移住希望者および新卒者等への情報発信、支援制度の充実、移住相談ツアーの実施ならびに首都圏等における移住相談体制の強化などを通じて、本市への移住を促進します。

1億240万6千円

庁内定型業務RPA導入経費

デジタル市役所の実現に向けて、業務改革の機運・意識を醸成するため、全庁共通定型業務へRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を導入し、事務の効率化、業務時間の削減を行います。

※13ページに関連記事掲載
168万5千円

子育て情報発信事業

子育て支援やイベント開催等の情報をホームページやLINEを活用して効果的に発信することで、子育て世帯が必要な情報やサービスを受ける機会を増やし、子育てに対する不安感や負担感の軽減を図ります。

235万1千円

にじいろあきた推進事業

多様性を尊重する社会の実現のため、LGBTQのパートナーシップ宣誓制度を導入し、多様な性のあり方への市民理解を深め、社会的偏見や差別をなくすための取り組みを行います。

- ・ワークショップ
- ・LGBTQ啓発冊子の作成等

112万9千円

エイジの日プロモーション事業

エイジフレンドリーシティを広く分かりやすく周知し、市民が高齢になっても、誰もが心豊かにいきいきと暮らせる社会を目指すための事業を実施します。

- ・「エイジフレンドリーシティの日」イベント開催
- ・プロモーション事業の実施

286万2千円

不妊治療費助成事業

① 特定不妊治療 体外受精や顕微授精等の治療をした夫婦に対し、保険適用後の自己負担分の一部を助成します。

② 一般不妊治療 1年につき5万円まで、通算2年間（10万円）助成します。

5千998万3千円

地域中小企業団体等支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により業績が悪化した各業界・業種を代表する団体等が、業界・業種全体の業績回復等を目的に実施する事業を支援します。

3千万円

新型コロナウイルス感染症対策プレミアム付商品券発行事業

地域消費を喚起し、市内経済の回復に資するため、市内で利用できるプレミアム付き商品券を発行します。

券面額 10億円（うちプレミアム分2億円）

発行数 10万セット

（1人2セットまで購入可能）
2億8千525万8千円

佐竹史料館改築事業

「佐竹史料館改築基本計画」に基づき、改築基本設計・実施設計、既存建物解体工事、久保田城跡埋蔵文化財発掘調査等を行います。

2億8千534万2千円

「東北絆まつり2022秋田」開催経費

東北6市の持ち回りで開催されている東北絆まつりについて、これまでの被災地支援に対する感謝と復興に向かう東北の元気な姿を引き続き発信していくことを目的に本市で開催します。

開催日程 4年5月28日から29日まで

会場 八橋運動公園内
1億9千24万円



東北絆まつり2019福島の様子

秋田の魅力発信素材充実事業

国内外へ広く発信できる観光プロモーション動画や観光資源などの素材をまとめたウェブサイトを制作し、新型コロナウイルス感染症収束後の交流人口の回復や観光客誘致を図ります。

898万8千円

芸術文化のまちづくり推進事業

市民の芸術文化の発表・鑑賞の機会拡大および担い手の確保・育成による市民文化の振興、秋田ならではの芸術文化事業によるにぎわい創出の好循環を図り、本市文化の継承・創造による芸術文化のまちづくりを推進します。

1千926万5千円

バスロケーションオープンデータ化事業

バス利用者の利便性向上を図るため、運行中の路線バスの位置情報を取得するために必要な経費の一部をバス事業者に支援するとともに、スマートフォンなどで車両の現在位置を表示できるように、取得情報をオープンデータとして公開します。

255万4千円

粗大ごみ収集オンライン申込み導入経費

粗大ごみの収集申し込みから処理手数料の決済までの手続きを、スマートフォン等により、オンラインで一括して行うことができるシステムを導入します。

126万2千円

仁井田浄水場等整備事業

基幹浄水場である仁井田浄水場を更新するとともに、これに併せて必要となる施設整備を実施します。

4年度予算額

1億5千308万円

(参考)

継続費総額

272億5千万円

(3年度から9年度まで)

追分駅バリアフリー化設備整備事業費補助金

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律による移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づき、鉄道事業者が実施する追分駅バリアフリー化設備整備事業(エレベーター等整備)に対し補助することにより、高齢者、障害者等の駅利用者の利便性向上を図ります。

補助率 補助対象事業費の

3分の1以内

9千万円



J R 追分駅

買物タクシー事業

公共交通の利用が不便な環境にある高齢者や、運転免許証を持たない市民の日常生活に必要な移動手段の確保を図るため、タクシー事業者やスーパーマーケットと連携したタクシーを運行します。

本格運行

・運行地区 新藤田地区および手形字中台

実証運行

・運行地区 榎山太田町および榎山石塚町
・運行方法 満65歳以上の高齢者等を対象とした事前登録制の予約式

198万3千円



道路冠水対策事業

道路冠水が常襲している地区に、センサーやカメラを含めた通信機器等を設置し、冠水状況の見える化を図るとともに沿線住民への確な情報伝達を行います。

・センサー設置 榎山地区ほか5カ所

7千154万8千円

令和3年度補正予算

保育士等処遇改善関係事業

保育、幼児教育など現場で働く方々の処遇改善のため、賃上げを継続的に行う施設に対し、補助金等を交付します。

①母子生活支援施設職員処遇改善事業 91万6千円

②放課後児童健全育成事業 704万円

③保育士・保育教諭等処遇改善事業 4千577万3千円

④幼稚園教諭等処遇改善事業 79万円

千秋公園整備事業

市民の憩いの場である千秋公園の魅力を高めるため、大手門の堀内に遊歩道を整備します。

・遊歩道整備詳細設計業務委託

4千万円



大手門の堀

転出・転入手続ワンストップ プ化関係経費

マイナンバーカード所有者が、マイナンバーから転出届および転入予約を行うことができる環境を整備するため、基幹系システム等を改修します。

4千442万1千円

小学校大規模改造事業

教育環境の改善を図るため、老朽化した学校施設を改修します。

・旭川小学校 管理室棟、普通教室棟大規模改造
4億2千380万7千円

条例

秋田市消防団員の報酬及び費用弁償額並びにその支給方法条例の一部を改正

消防団員に支給する報酬を改定するとともに、出勤報酬について定めるため、改正しました。

施行期日 4年4月1日から

秋田市文化会館条例を廃止

文化会館を廃止するため、条例を廃止しました。

施行期日 4年10月1日から

単行案

泉地区コミュニティセンター大規模改修工事請負契約を締結する件

工事場所 泉北一丁目20番27号

契約金額 1億7千50万円

契約先 中央土建・山建

特定建設工事共同企業体

工期 5年1月27日まで

工事概要 外部改修、内部改修、外構工事

人事

副市長

柿崎 武彦氏(新任)

固定資産評価審査委員会委員

長谷部 弘輝氏(再任)

人権擁護委員

高井 志津子氏(再任)

今野 謙氏(再任)

寺沢 修平氏(新任)



1月臨時会の議決結果

◆全員一致で可決・承認した議案

全員一致で可決・承認した議案は件名のみを掲載しています。

件 名		
市長提出	予算案	令和3年度秋田市一般会計補正予算（第15号）の件
	単行案	令和3年度秋田市一般会計補正予算（第14号）に関する専決処分について承認を求める件

◆賛否が分かれた議案

本案は、無記名投票を実施したため、賛成・反対の票数のみを掲載しています。

件 名		議決結果	賛成	反対
市長提出	人事案 秋田市副市長の選任について同意を求める件	不同意	15	19

※欠席1

2月定例会の議決結果

◆全員一致で可決・承認した議案

全員一致で可決・承認した議案は件名のみを掲載しています。

件 名		
市長提出	令和3年度補正予算案（先議分）	令和3年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第2号）の件
		令和3年度秋田市市有林会計補正予算（第1号）の件
		令和3年度秋田市市営墓地会計補正予算（第2号）の件
		令和3年度秋田市大森山動物園会計補正予算（第2号）の件
		令和3年度秋田市廃棄物発電会計補正予算（第2号）の件
		令和3年度秋田市病院事業債管理会計補正予算（第1号）の件
		令和3年度秋田市国民健康保険事業会計補正予算（第2号）の件
		令和3年度秋田市母子父子寡婦福祉資金貸付事業会計補正予算（第1号）の件
		令和3年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第3号）の件
		令和3年度秋田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）の件
		令和3年度秋田市水道事業会計補正予算（第3号）の件
		令和3年度秋田市下水道事業会計補正予算（第2号）の件
		令和3年度秋田市農業集落排水事業会計補正予算（第2号）の件
		令和3年度秋田市一般会計補正予算（第17号）の件
		令和3年度秋田市一般会計補正予算（第19号）の件
	単行案（先議分）	令和3年度秋田市一般会計補正予算（第16号）に関する専決処分について承認を求める件
		県・市連携文化施設整備事業に係る建築等工事施行協定の変更協定を締結する件
	令和4年度当初予算案	令和4年度秋田市土地区画整理会計予算の件
		令和4年度秋田市市有林会計予算の件
		令和4年度秋田市市営墓地会計予算の件
		令和4年度秋田市中央卸売市場会計予算の件
		令和4年度秋田市公設地方卸売市場会計予算の件
		令和4年度秋田市大森山動物園会計予算の件
		令和4年度秋田市廃棄物発電会計予算の件

←6ページに続きます

◆全員一致で可決した議案

全員一致で可決した議案は件名のみを掲載しています。



件 名	
市長提出	令和４年度秋田市病院事業債管理会計予算の件
	令和４年度秋田市学校給食費会計予算の件
	令和４年度秋田市国民健康保険事業会計予算の件
	令和４年度秋田市母子父子寡婦福祉資金貸付事業会計予算の件
	令和４年度秋田市介護保険事業会計予算の件
	令和４年度秋田市後期高齢者医療事業会計予算の件
	令和４年度秋田市水道事業会計予算の件
	令和４年度秋田市下水道事業会計予算の件
	令和４年度秋田市農業集落排水事業会計予算の件
	条例案
	秋田市個人情報保護条例の一部を改正する件
	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する件
	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件および職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正する件
	秋田市国民健康保険税条例の一部を改正する件
	秋田市指定障害者支援施設の人員、設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する件
	秋田市指定通所支援の事業等の人員、設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件
	秋田市児童福祉施設の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件
	秋田市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件
	秋田市宅地開発に関する条例の一部を改正する件
	秋田市消防団員の報酬及び費用弁償額並びにその支給方法条例の一部を改正する件
	秋田市水道事業等の設置等に関する条例の一部を改正する件
	秋田市農業集落排水施設条例の一部を改正する件
	秋田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する件
	単行案
	地方独立行政法人市立秋田総合病院第２期中期目標の一部を変更する件
	秋田市雄和中の沢、平尾鳥辺地に係る総合整備計画を定める件
	包括外部監査契約を締結する件
	秋田市将軍野地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件
	秋田市雄和左手子交流センターの指定管理者を指定する件
	秋田市東地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件
	秋田市保戸野地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件
	秋田市川尻地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件
	秋田市御所野交流センターの指定管理者を指定する件
	市道路線を認定する件
	泉地区コミュニティセンター大規模改修工事請負契約を締結する件
	除雪グレーダを買い入れる件
	大型ロータリ除雪車を買い入れる件
	凍結抑制剤散布車を買い入れる件

◆ 全員一致で可決・同意した議案

全員一致で可決・同意した議案は件名のみを掲載しています。

件名	
市長提出	秋田市副市長の選任について同意を求める件
	秋田市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件
	人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件（3件）
議員提出	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を非難する決議の件

※「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を非難する決議」については、10 ページに掲載しています。

◆ 賛否が分かれた議案（先議分）

賛否が分かれた議案は各議員の表決状況を掲載しています。

件名		議決結果	秋水会										フロンティア秋田				市民クラブ		公明党		共産党		そうせい議長										
			荻原貴幸	工藤知彦	細川信二	安井正浩	川口雅丈	佐藤宏悦	伊藤一巧	熊谷重隆	菅原琢哉	渡辺正宏	小野寺誠	小木田喜美雄	赤坂光一	山崎宗雄	後藤良	船木純信	倉田芳浩	小林一夫	安井誠悦	藤枝隆博	見上万里子	工藤新一	花田清美	牧野正守	武田秀博	石塚淳子	成沢淳博	奈良順子	佐藤久知	鈴木純子	佐藤純健
市長提出	令和3年度秋田市一般会計補正予算（第18号）の件	可決	○										×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	欠	○		○		○		○		議	

◆ 賛否が分かれた議案等

賛否が分かれた議案等は各議員の表決状況を掲載しています。

件名		議決結果	秋水会											フロンティア秋田					市民クラブ				公明党			共産党			そうせい	議長					
			荻原貴幸	工藤知彦	細川信二	安井正浩	川口雅丈	佐藤宏悦	伊藤一巧	伊藤重隆	熊谷琢哉	菅原正宏	渡辺誠	小野寺喜美雄	小木田光一	赤坂	山崎宗雄	後藤良	船木純	藤田信	倉田浩	小林一夫	安井誠悦	藤枝隆博	見上万里子	工藤新一	花田清美	牧野正守	武田秀博	石塚淳子	成沢順子	奈良久	佐藤知	鈴木純	佐藤健
市長提出	令和4年度秋田市一般会計予算の件	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○				○			×			○	議				
	秋田市文化会館条例を廃止する件	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○				○			×			○	議		
請願	土地利用規制法に基づく注視区域及び特別注視区域の指定に当たり、地方公共団体の意見を聴取する旨を基本方針に定めることに関する意見書の提出について	不採択	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○					×				×			○			×	議				
陳情	最低賃金の抜本的引上げに関する意見書の提出について	不採択	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○					×				×			○			×	議				
	最低賃金の引上げに向けた中小企業・小規模事業者支援策の拡充に関する意見書の提出について	不採択	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○					×				×			○			×	議				

★賛否は、賛成（○）と反対（×）で掲載しています。
○：賛成【可決・承認・認定・同意・採択】、×：反対【否決・不承認・不認定・不同意・不採択】、欠：欠席、議：議長
★略記している会派の名称
「公明党」は公明党秋田市議会、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団

各議員の表決状況は市議会ホームページでも公開しています。

■ 請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに議長あてに提出してください。
ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話018（888）5784

代表質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目(PDF)⇒
(代表質問)



本会議の録画映像⇒



除排雪コールセンター 地域農業の振興

秋永 水会
佐藤 宏悦

◇令和4年度当初予算等◇新
型コロナウイルス感染症◇デ
ジタル化の推進◇除排雪◇地
域農業の振興◇洋上風力発電
◇都市計画道路

問 例年、降雪により路面
状況が悪化した際には除排
雪コールセンターへの電話
が繋がりにくい状況が発
生していますが、対策は施
されているのですか。

答 同コールセンターに電
話がつながりにくい場合、
音声ガイダンスにより作業
状況の案内をしてきました
が、さらに令和3年度より
地域情報員制度の活用やホ
ームページからのご意見・
ご要望入力フォームの案内
を行っており、これらを活
用した問い合わせも増えて
いるところです。今後、も
市民の皆様への丁寧な情報
提供ができるよう新たな情
報発信の方法について検討
していきます。

問 地域農業再生の要であ
る認定農業者、集落営農組
織および農業法人を、今後
どのように生かしていくの
ですか。また、将来的に期
待する役割は何ですか。

答 現在、高齢化による農
業者の減少や耕作放棄地の
拡大など、農業を取り巻く
環境が厳しさを増す中、効
率的で安定的な農業経営体
の確保・育成が急務となっ
ています。そのため、認定
農業者等を地域農業の重要
な担い手として位置付け、
設備等の導入や農作物の減
収補てんなどの集中的な支
援により、育成に努めてい
ます。認定農業者等には、
将来的に農産物の生産拡大
や農地の持つ多面的機能の
維持等において、これまで
以上に地域農業のけん引役
としての役割を果たすこと
に加え、雇用の確保や都市
農村交流の受け皿など、農
村コミュニティ活性化の
ための中核的な役割も期待
するものです。



デジタル専門人材の育成 保健所の負担軽減策

フロンティア秋田
藤田 信

◇市長の政治姿勢◇中・長期
的な財政の見通しと運営◇秋
田市デジタル化推進計画◇シ
ティプロモーション◇テレワ
ーク環境を生かした移住・二
地域居住の促進等◇地域への
医療提供体制の整備◇がん対
策◇除排雪：ほか

問 DX(デジタルトラン
スフォーメーション※)や
ICT利活用を推進するた
めのデジタル専門人材の育
成に力を入れ、市内の非I
T系企業への就職を推進す
る考えはありませんか。

答 市内企業の生産性向上
を図るためには、ICTの
利活用を促進することが重
要であり、デジタル分野の
人材育成が急務であると認
識しています。そのため、
専門人材を養成している市
内の大学等と連携を図ると
ともに、産学連携の促進や
学生と企業とのマッチング
機会の創出により、人材育
成や市内への就職を支援し
ていきます。また、人材確

保が難しい小規模事業者等
には、専門家を派遣してア
ドバイスを行うデジタル技
術活用生産性向上支援事業
により、ICTの利活用へ
向けた取り組みを支援して
いきます。

問 新型コロナウイルス感
染症関連業務のDXやデジ
タル化により、保健所の負
担軽減を早急に実現すべ
きではありませんか。

答 保健所の同業務の負担
軽減については、これまで
も職員が聞き取りしたデー
タの入力作業を簡素化する
ための技術的支援をしてい
ますが、今後の負担軽減は
対応すべき課題ととらえて
います。現状では、保健所
職員が自らDXやデジタル
化が可能な業務を精査する
ことは困難なことから、兼
務で保健所業務に従事した
職員への聞き取りや他都市
の事例も参考に可能な手法
を検討するなど、負担軽減
に努めていきます。

※DX(デジタルトランスフォーメーション)とは・・・

Digital Transformation の略で、情報通信技術(ICT)が社会のあらゆる領域に浸透することによってもたらされる変革のことです。

代表質問

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。



外旭川地区のまちづくり
窓口の混雑緩和

市民クラブ
見上 万里子

◇市長の政治姿勢◇人事行政の運営◇市民に優しい庁舎の窓口◇新型コロナウイルス感染症への対応◇市立秋田総合病院◇外旭川地区のまちづくり◇除排雪の在り方◇子供の健康とそれを支える人への支援

問 外旭川地区のまちづくりについて、同地区にスタジアム等を建設した場合の交通網をどのように形成し、近隣の幹線道路の機能を損なわないようにできるのですか。

答 同地区まちづくり事業パートナーの公募においては、新スタジアムや卸売市場、民間提案による施設等の配置計画に加え、提案したエリアへの交通アクセスや、モデル地区内での動線についても記載を求めていることから、交通量の増加等による影響についても検討し、周辺交通環境に配慮された提案がなされるものと考えています。また、幹

線道路の渋滞緩和などの対応方針については、選定された事業パートナーの提案を基に、同地区のまちづくりの基本構想を策定していく過程において検討を行っていきます。

問 市民課窓口で行っている混雑状況を周知するための配信システムを、繁忙期のある他課の窓口にも広めてはどうですか。

答 同課窓口の配信システムは、本庁舎1階の番号発券機と連動し、待ち人数と呼び出し番号をウェブサイトで配信しており、事前に窓口の状況が確認できることから、混雑緩和に一定の効果があるものとらえています。今後、各課の繁忙期におけるニーズの把握や他都市の先進事例の調査を行っていきます。



営農継続支援事業の補助額
リバースモーゲージ制度

公明党秋田市議会
牧野 守

◇経済・雇用施策等◇高齢化社会のまちづくり◇生きがいと支え合いの施策の推進：ほか

問 営農継続支援事業は、営農継続に向け、種苗費の一部として10アール当たり1千500円を補助するのとありますが、他市町村と比べて低い補助額となっている理由は何ですか。また、どのような基準で補助額を算定しているのですか。

答 米価下落等により農業経営に影響が及んでいることから、令和3年の秋以降、農家の現状把握や他都市の支援策の情報収集等に努めながら、本市の対策等を検討してきました。こうした中、JA秋田なまはげから次期作の生産支援の要望があり、その要望額も参考に、県の稲作指導指針に示された種苗費の2分の1相当の10アール当たり1千500円を補助単価としたものです。

問 社会福祉協議会で実施しているリバースモーゲージ制度には、利用対象者となるための高いハードルがあることから、活用頻度を高めるため、市として取り組む考えはありませんか。

答 同制度は、全国の社会福祉協議会が、評価額1千万円以上の土地を担保に、低所得の高齢者世帯へ生活資金の貸し付けを行っているものですが、担保額が比較的高いことや、制度が十分に周知されていないことなどから、活用が低迷している状況です。このことから、本市としては、広報あきた等で広く市民に周知するほか、高齢者からの相談が多い地域包括支援センターや民生委員に対して、制度の周知を図るなど、機会をとらえて活用頻度を高めるよう努めていきます。

■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル121ch）と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

6月定例会の本会議は、6月2日、13日、14日、15日、27日に開催予定です。

代表質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目(PDF)⇒
(代表質問)



本会議の録画映像⇒



答 令和2年3月以降、感染状況に応じて保健所職員を増員しているところですが、今後のさらなる感染拡大に備え、可能な業務を委託するなど関係機関との協力体制を構築しているところです。また、時間外労働の状況を随時調査し、休暇取得の徹底や産業医による面接指導も実施しており、今後も職員の健康管理に努めていきます。

問 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、重要な課題である保健所の体制強化と職員の健康管理について、どのような対策を講じていますか。

◇行財政運営◇地上配備型ミサイル迎撃システム「イージス・アショア」の配備計画断念に伴う住民説明会◇外旭川地区まちづくり事業◇新型コロナウイルス感染症対策◇ゆき対策◇災害対策◇生徒への消費者教育◇生活保護行政◇難聴者の補聴器購入費の助成



保健所の体制強化等
外旭川地区のまちづくり

日本共産党
秋田市議会議員団
佐藤 広久
さとう ひろひさ

答 モデル地区での取り組みは、さまざまな分野における取り組みを集中的かつ一体的に展開すること、本市が抱える課題の解決を図り、将来的には、ここで得られた成果を波及させ、本市全域の課題解決を目指すものであり、既存の7地域でこれらの取り組みを行うことは考えていません。なお、平成24年にイオンタウン株式会社が開発構想を公表しましたが、その後、泉外旭川駅の開業や卸売市場の再整備など、地域を取り巻く状況が大きく変化したため、総合計画等においてモデル地区として検討することを位置付けました。

問 外旭川地区のモデル地区における先端技術を活用したサービスなど実証的な取り組みは、既存の7地域でも可能ではありませんか。また、コンパクトシティと相いれないとの考えから、開発提案の容認に転じた理由は何ですか。

～「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を非難する決議」を可決～

令和4年3月8日の本会議に、議員提案により「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を非難する決議の件」が上程され、全員一致で可決しました。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を非難する決議

本年2月24日に開始されたロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、武力の行使を禁じる国連憲章の重大な違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので、断じて容認することはできない。

また、核兵器で国際社会を威嚇することは許されざる行為であり、非核平和都市宣言を行い、核兵器の廃絶と世界恒久平和を願う秋田市議会として、強く抗議する。

秋田市議会は、ロシアに対しウクライナへの軍事侵攻を即時停止するとともに、完全かつ無条件で撤退するよう強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年3月8日

秋田市議会



本会議場での提案説明の様子

「決議」とは

議会としての意思を表明するものです。

一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目(PDF)⇒
(一般質問)

本会議の録画映像⇒



問 本市の特産を目指し、漬物加工・販売を行う農家に対して支援を行う考えはありませんか。

答 本市では、市内農産物を活用して6次産業化に取り組む農業者や事業者を対象に、加工所の整備や改修等に要する経費の一部を補助しています。令和3年に施行された食品衛生法の一部改正に対応した、漬物加工専用の作業場設置に要する改修費も補助の対象となることから、対応を要する農家等に対して本制度の活用を促すとともに、広報あきた等での周知や相談体制の充実を図りながら、事業継続を支援していきます。

◇市政運営◇「東北絆まつり2022秋田」◇本市の公共事業における入札参加資格◇農業振興策◇市職員が働きやすい職場づくり◇移住定住者の増加に向けた取組◇教育行政◇河辺地域の振興



漬物加工・販売農家への支援
(仮称)道の駅かわべの設置

秋水会
おのの まこと
小野寺 誠

問 国道13号沿いに(仮称)道の駅かわべを設置し、河辺地域のにぎわい創出につなげる考えはありませんか。

答 道の駅の新規設置には、休憩、情報発信、地域連携の3つの機能を有する施設整備が要件となっております。道路利用者や地域住民のための利便性向上や地域の振興、にぎわい創出につながる拠点として大きな役割を果たすものと認識しています。また、2年度に防災道の駅制度も創設され、防災機能も併せ持つことにより、災害時における地域の安全の確保に寄与する施設として、新たなステージでの整備も進められています。現時点において、新たな道の駅設置の具体的な計画はありませんが、関係部署が連携し、幅広くさまざまな視点からその効果や課題について研究していきたいと考えています。

◇除排雪等◇買物弱者への支援◇あきエコどんどんプロジェクトの利用拡充◇スポーツ振興◇性の多様性への配慮◇SNSを活用した本市のPR◇教育等◇車中泊設備の整備◇廃校舎の利活用◇大森山動物園



廃校舎の利活用
市民参加ボランティアの促進

フロンティア秋田
ことら
後藤 良

問 市民一斉除雪デー、全市清掃月間、ボランティア清掃など多くの市民が参加するボランティア活動の周知および参加促進のため、参加者にあきエコどんどんプロジェクトのポイントを付与する考えはありませんか。

問 若者にとって魅力あるまちを目指す観点から、廃校舎を活用してアウトドアショップやスケートパークなどが一体となった施設(仮称)Xベースを設置してはどうですか。

答 (仮称)Xベースについては、市として設置する考えはありませんが、廃校舎の利活用に当たっては、第一に地元自治会等に対して意向を確認し、次に、市役所内での利活用の有無を確認した後、最終的には、民間に対し公募することとしており、民間団体で設置希望がある場合は、検討していきます。

答 同プロジェクトは、レジ袋辞退などの環境配慮行動に対してインセンティブを与えることで、楽しみながら二酸化炭素やごみの削減を市民に促すためのツールです。これまで、ポイントが獲得できる店舗やメニューの拡大により、認知度や魅力度の向上を図ってきましたが、ボランティア清掃なども環境配慮行動のひとつであり、多くの市民が参加する地域活動を新たなポイントの対象とすることで、さらなる利用拡充も期待できることから、実施に向けた検討を進めていきます。

議会の動き

2月8日 各派会長会議
議会運営委員会
14日 2月定例会
(3月22日まで)

3月22日 各派会長会議
24日 総務委員会市内視察
4月4日 編集委員会
13日 編集委員会
26日 総務委員会(閉会中)

※No.185に掲載した1月25日の総務委員会市内視察は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、いったん中止し、3月24日に実施しました。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問



外旭川地区住民への説明会 新スタジアム整備の役割分担

そうせい
さいとう
まさる
齊藤 勝

◇外旭川地区のまちづくり◇
洋上風力発電設置による地元
経済の活性化◇地域おこし協
力隊◇除排雪◇文化財行政◇
キャリア教育

問 外旭川地区のまちづくりについて、モデル地区とはいえ、同地区の住民に説明がまったくなされていないことについて、どのように考えていますか。また、同地区住民に対する説明会および意見聴取の場を市主体で設けるべきと考えますかどうか。

答 同地区のまちづくりについては、事業パートナーの公募を行い、令和4年3月25日の審査委員会においてプレゼンテーションを実施した上で、事業パートナーを選定することとしています。事業パートナー選定後、市が主体となって基本構想を策定することとしており、同地区住民に対する説明については、その過程においてパブリックコメント

等を実施するほか、住民説明会なども含め、事業パートナーと共に効果的な意見聴取の手法についても検討し、丁寧に対応していきます。

問 新スタジアム整備は市が主導しているように見えますが、県・市の役割分担について、どのように考えていますか。

答 新スタジアム整備の候補地選定については、市が主導して行うこととし、外旭川地区を候補地として3年7月に県に報告したところです。新スタジアム整備の公募要件については、行政が支援し民間主導で行うことを県と合意し、公募を行っているところであり、今後、事業パートナーからの提案を基に、整備主体や整備手法、運営主体、費用負担などについて、引き続き県と共同で検討を進めていきます。



公立美術大学の学生寮の建設 若者の雇用

あかざか
こういち
赤坂 光一

◇若者の雇用◇市民意見を施策に反映させる手法◇廃校舎の利活用◇八橋運動公園の施設整備◇一般質問等への答弁後の対応◇新屋ガラス工房◇秋田公立美術大学

問 秋田公立美術大学の学生寮を建設し、寮生と住民が地域づくりを行うことは本市にとって有益と思いますが、設置者としてどう考えますか。

答 学生寮は、安全安心な居住環境の提供や学生同士の交流の場となるほか、地域との交流機能を持たせることも可能になるものと考えています。一方で、立地場所や施設の規模等に加え、民間アパート等との共存など検討すべき事項も多いため、まずは同大学において、学生のニーズを含め、さまざまな観点から検討していただく必要があるものと考えています。

問 若者の雇用について、現在の取り組み状況はどうですか。また、課題をどうとらえていますか。加えて、他都市における取り組みについて、注目している施策はありますか。

答 本市では、若者の雇用拡大に向けた取り組みとして、アンダー40正社員化促進事業等により雇用の質の向上に取り組んでいるほか、新たに新卒者地元就職促進事業等を実施し、学生とのマッチング機会創出等に努めています。こうした中、市内企業の知名度や魅力を学生に伝える機会の不足等を課題としてとらえており、今後、鋭意対応に努めていきます。また、関連施策の検討に当たっては、他都市の事例も調査しているところであり、最近では青森市や盛岡市などにおける事業拠点の開設準備に対する支援制度を参考にしたいと考えています。

行政情報アプリ「マチイロ」について

スマートフォンやタブレット端末用の広報紙閲覧アプリ「マチイロ」であきた市議会だよりを配信しています。

専用アプリをダウンロードしてご利用ください。
※マチイロ公式サイト <https://machihiro.town/>



アプリダウンロード
QRコード

予算決算委員会各分科会の審査から（令和4年度当初予算について）

総務分科会

総務部、企画財政部、デジタル化推進本部、会計課、消防本部などの所管事項

委員

庁内定型業務 RPA 導入経費について、RPA の導入に当たっては、費用対効果の検証が非常に重要であると考えますが、どのように検証するのですか。また、RPA を今後どう活用していくのですか。

デジタル化推進本部

同経費について、令和4年度は財務会計システム支出命令伝票作成業務のうち、定型的に発生する支払い業務に関して、10課所室程度に RPA を導入することにより、250時間程度の業務時間の削減効果が期待できるものと考えられています。5年度は、さらに対象課所室を広げるとともに、削減できた業務時間を集計するなど、RPA 導入の効果を検証していきたいと考えています。今後の活用については、他の定型業務への活用も視野に入れながら、業務の効率化や業務時間の削減に取り組んでいきたいと考えています。

厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員

北部墓地整備事業について、これまで2期にわたって1千94区画の整備を行っていますが、146区画空いているにもかかわらず、新たに第3期分として364区画を整備しようとする理由は何ですか。

市民生活部

北部墓地において、空いている区画については、令和4年度および5年度に募集を行っていく予定です。また、同墓地は、毎年80区画から100区画程度のペースで使用を許可しており、そのニーズは高いと考えていることから、今回新たに整備しようとするものです。



北部墓地

教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員

旧松倉家住宅開館準備経費は、令和5年3月の開館に向けた準備などに要する経費とのことですが、県指定有形文化財である同住宅を観光資源として活用していくのであれば、しっかりと集客に結びつける視点が重要であることから、より積極的な取り組みが必要ではありませんか。

観光文化スポーツ部

同住宅は文化財としての制約はあるものの、観光資源としての積極的な活用を考えており、本市文化財の管理において初めて指定管理者制度の導入を予定しているほか、羽州街道歴史まつり等のイベントで蓄積したノウハウも生かし、同住宅での集客に資する取り組みを本市全体の歴史観光に広めていくことができるよう、これまでの文化財の活用から一段進んだ形で取り組んでいきたいと考えています。

建設分科会

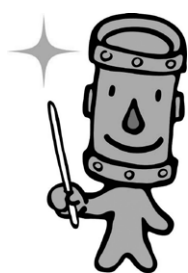
環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員

債務負担行為を設定している下水道管路および施設の維持管理包括業務委託は、複数業務のパッケージ化と複数年度契約によりコストを削減するものです。が、現状の個別業務委託と比較して、どの程度のコスト削減が図られるのですか。

上下水道局

同包括業務委託は、管路において2年6カ月間、施設において3年間の複数年度契約を締結するものですが、契約期間内におけるコストは、個別業務委託と比較し、管路において約5%の約3千400万円、施設において約2%の約3千万円の削減が図られるものと見込んでいます。



カンちゃん

あきた市議会だよりアンケート

市議会への関心や理解がより一層高まるものになるようアンケートを実施しますので、皆様の率直なご意見をお聞かせください。

Q1 年齢を教えてください。

- ①10 歳代 ②20 歳代 ③30 歳代
④40 歳代 ⑤50 歳代 ⑥60 歳代
⑦70 歳以上

Q2 職業を教えてください。

- ①会社員・自営業・公務員 ②パート・アルバイト
③学生 ④無職 ⑤その他（ ）

Q3 あきた市議会だよりをどの程度読んでいますか。

- ①毎回読んでいる ②時々読んでいる
③ほとんど読まない ④今回初めて読んだ

Q4 よかった記事を教えてください。

※当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- ①臨時会・定例会の概要
②臨時会・定例会の議決結果
③代表質問・一般質問
④予算決算委員会各分科会の審査から
⑤6月定例会のお知らせ
⑥特になし
⑦その他（ ）

理由を教えてください。

Q5 改善が必要な記事を教えてください。

※当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- ①臨時会・定例会の概要
②臨時会・定例会の議決結果
③代表質問・一般質問
④予算決算委員会各分科会の審査から
⑤6月定例会のお知らせ
⑥特になし
⑦その他（ ）

理由を教えてください。

Q6 あきた市議会だよりをより多くの皆様にお読みいただくために、どのような記事を掲載したらよいと思いますか。

Q7 あきた市議会だよりに関するご意見や感想がありましたらご記入ください。

アンケートは、以下の方法で、5月31日(火)まで受け付けております。

- 持参・郵送 〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号 本庁舎5階 秋田市議会事務局議事課
■電話 018(888)5784 ■ファクス 018(888)5783 ■電子メール ro-ccpr@city.akita.lg.jp
■ウェブ 右のQRコードを読み取り、表示されたページのリンクからアンケートフォームへお進みください。⇒
アンケートに直接書き込んでも、コピーでも結構です。持参・電話は平日のみ受け付けております。



6月定例会のお知らせ(予定)

日 程

- 6月2日 本会議
13日～15日 本会議「一般質問」
16日 常任委員会
17日～21日 常任委員会・分科会
(土日除く)
23日 常任委員会
27日 本会議

一般質問予定者

- 細川信二、伊藤巧一、菅原琢哉（秋水会）
小林一夫（フロンティア秋田）
安井誠悦、藤枝隆博（市民クラブ）
武田正子（公明党秋田市議会）
鈴木知（日本共産党秋田市議会議員団）

今回のあきた市議会だよりは令和4年8月5日発行予定です。



※日程および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

